



社会

社会基盤である高速道路の整備と長期保全

高速道路の利便性向上 2019年度は5カ所のスマートICを新たに整備しました

高速道路の利便性を向上させるため、スマートIC※の整備を進めています。スマートICは、ETCを搭載した車両の利用に限定することで簡易な料金所の設置で済むとともに、市街地や観光地へのアクセスが向上し、高速道路がさらにご利用しやすくなります。

※ETCを搭載した車両限定で利用できるICで、対象車種が限定されている場合があります。

2019年度は湯田温泉（中国道）、中山（松山道）、人吉球磨（九州道）、国富（東九州道）、桜島【下り線出口】（九州道）で新たにスマートICが開通し、計36カ所となりました。現在、さらに6カ所の整備に着手しています。



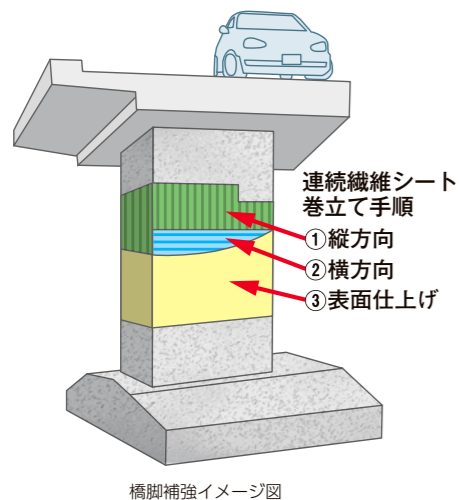
九州自動車道 人吉球磨スマートIC開通の様子



中国自動車道 湯田温泉スマートIC完成航空写真

地震に強い高速道路 耐震補強対策を加速させています

2016年4月に発生した熊本地震における橋梁の被災状況を踏まえ、お客さまに安心して高速道路をご利用いただけるよう、橋梁の耐震補強を進めています。



耐震補強前



耐震補強後

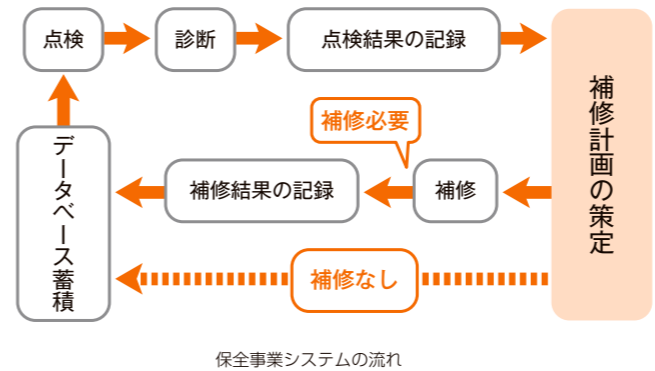


施工中

高速道路インフラの健全性の確保 保全事業システムの高度化、効率化を進めています

老朽化が進む高速道路を将来にわたって健全な状態に保つためには、構造物の状態をより正確にかつ迅速に把握・診断し、いつどのような対策を実施するのか、または監視を行っていくのかなど適切な維持補修計画を策定することが重要となります。

当社では一連の業務手順やルールを明確にして、そのサイクルが途絶えることなく継続される保全事業システムの推進に努めています。



保全事業システムの流れ

また、膨大な高速道路資産を確実に点検し正確に健全性を把握するため、高解像度カメラ、赤外線カメラなどの点検支援技術の活用やタブレット端末を使った点検の記録、AIによる健全性診断の支援など点検の高度化、効率化の推進に取り組んでいます。



高解像度カメラ (Auto CIMA)



タブレットでの点検記録

そのほかにも、ジェットファンなどの道路付属設備の更新とともに頭上設備の軽量化を進めています。



軽量型ジェットファン

2019年度は、18台のジェットファンについて軽量型へ取り替えを実施しました。

重量超過等の違反車両の取り締まりを徹底します

重量超過等の違反車両は、道路の劣化を進行させる要因となっており、重量超過等の法令違反車両に対しては、IC入り口や本線料金所を中心に、指導・取り締まりを行っています。また、特に常習的・悪質な違反者に対しては警察への告発も行っています。



取り締まりの様子

災害対応力の強化

災害に強い組織・連携ネットワークの構築 様々な機関・会社との連携ネットワークを構築しています

当社は、一般道路との緊密な連携・調整を図るため、全24府県と災害協力を締結しています。また、自衛隊による被災地の救助活動のため、被災地や道路状況の情報の共有化、初動対応の連携などを目的とした連携協定を締結しています。

さらに2019年度は、「災害時における社員等の宿泊施設確保等の協力に関する協定」をKNT-CTホールディングス株式会社と締結し、災害に備えた対応力の強化に取り組んでいます。



近畿日本ツーリストとの協定締結



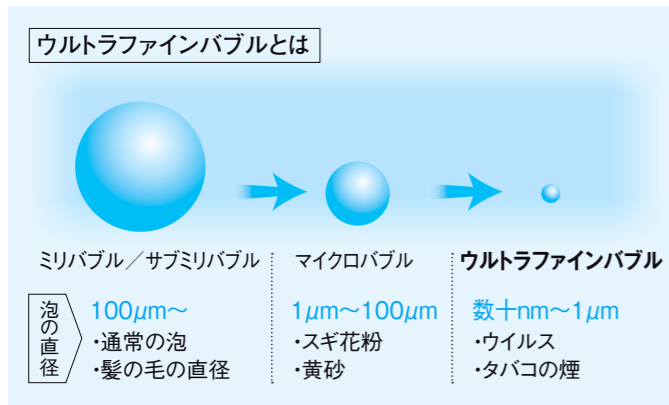
保有している技術・ノウハウの社会への展開

ウルトラファインバブル技術による事業創造 ウルトラファインバブルとSDGsのマッチング

ウルトラファインバブルは、気泡が1μm未満の肉眼で見ることができない大きさで、バブルが消滅するエネルギーなどによって微細な隙間に浸透しやすくなり、汚れを剥離する作用があり、洗剤等の使用量を大幅に削減させた事例があります。そのほかにも、農作物や魚の養殖などで成長を促進する事例も確認されており、多種多様な分野への適用拡大により、水利用

の効率を大幅に改善させることで、SDGsの目標6(すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する)の達成に貢献できるものと考えています。

今後もさらなる実用化に向け、SA・PAの小便器の洗浄やトンネル側壁清掃などで効果検証を進めるとともに、高速道路以外での実用化を進め、広く社会に貢献していきます。



「噴射して軽く拭くだけなので作業軽減」(清掃スタッフの声)

【他事業導入事例】
大手町フィナンシャルシティ様
ビルの横にエコミュージアムがあり、その一角のアーバンエコファームに導入

海外への事業展開 グループの強みを活かし、海外でも事業を展開しています

当社グループは、長年にわたる高速道路の建設・運営管理の経験によって、海外でも展開できる技術やノウハウを保有しています。

インドネシアでは、現地スタッフを擁する駐在員事務所とともに、現地企業と協働して高速道路事業に参画しています。また、技術アドバイザーを現地高速道路会社へ派遣し、建設や舗装補修の支援をしています。

アメリカでは、NEXCO-West USA, Inc. が非破壊検査技術を用いた点検業務を受注しており、2019年度はコネチカット州にある Pearl Harbor Memorial Bridge の点検を実施し、高い評価を受けました。

これらの事業活動を通じて海外の道路の品質と安全性向上に貢献するとともに、その経験を日本国内の道路事業にフィードバックすることをめざしています。



舗装補修計画会議 (インドネシア)



Pearl Harbor Memorial Bridge 点検の様子 (アメリカ)

高速道路を通じた地域連携

高速道路を通じた地域活性化 自治体と連携して、地域の観光振興に取り組んでいます

自治体や関係団体と連携した観光振興の取り組みの一つとして、ETC限定で周遊エリアの高速道路が定額で乗り放題となる「ドライブパス」を実施しています。

2019年度は、関西・中国・四国・九州各地のド

ライブパスや、訪日外国人向けの企画等を含め、約23万件ご利用いただきました。



ドライブパスの申込専用サイト「みち旅」
<https://www.michitabi.com/>

【2019年度の主なドライブパス】



ぎゅぎゅっと九州
まきつドライブパス 2019

四国まるごとドライブパス! 2019

自治体や関連団体と連携した観光振興 カードラリーで西日本各地へGO!

各府県が選ぶ「ごじまん」の観光地やサービスエリアに設置したカードを集めて応募すると、抽選でご当地産品等のプレゼントがもらえる「お国じまんカードラリー」。2019年度は13,483人の方にご応募いただき、そのうち64人の方が全スポットを制覇されました。



ごじまんスポットで配布するカード



2020年度からはスマートフォンからQRコードを読み込み獲得できるスタンプを集めることで、簡単に応募できるようになります。かわいいデザインが人気のカードも引き続き当社の高速道路がある24府県(全151カ所)のごじまんスポットで配布します。

※2020年夏頃開始予定